

## 《報道資料》

### パテック フィリップ・ノーチラス

パテック フィリップ ジュネーブ

2006年10月

#### パテック フィリップのスポーツエレガンスを体現する偉大なクラシック、 ノーチラスの誕生30周年を記念するニューコレクション

パテック フィリップは今から30年前ノーチラスを創作し、『スポーツエレガンス』スタイルの新たな時代を拓いた。このタイムピースの革命的なコンセプトとデザインは話題を独占し、以来、現代を象徴するシンボルとしての地位を確立してきた。今日パテック フィリップは、細部をリニューアルした新しいノーチラス・コレクションを発表する。パテック フィリップ完全自社開発・製作の新しい自動巻ムーブメントを搭載したフライバック・クロノグラフを含む新しいノーチラス・コレクションは、これから少なくとも30年間、この伝説的なモデルの成功を保証することであろう。

1976年、ジュネーブで小さな革命が起きた。ステンレススチール・ケースのラグジュアリー・ウォッチが発表されたのである。まだ二十世紀の旧態歴然たるペースで進んでいた当時の時計産業界は、当惑と懷疑心を隠さなかった。当時、ラグジュアリー・タイムピースはゴールド・ケースでなければならず、さらにゴールド・プレスレット、ダイヤモンドをセッティングしたインデックスとベゼルがあればなお好ましかつた。同時に時計メーカーは際限なく薄い腕時計の開発を目指して凌ぎを削っていた。そこへ突然、ステンレススチールでできた巨大な時計が現われたのである。当時の多くのゴールド・ウォッチよりも高価であったばかりか、サイズやフォルムにおいて当時のすべての錠を破るタイムピース、それがノーチラスであった。もうひとつの驚きは、ラグジュアリー・ウォッチの分野でこの一見無謀な試みを行ったのが、最も尊敬され高い評価を受けているマニュファクチュール、パテック フィリップであったという事実である。しかし今日、パテック フィリップのフィリップ・スターク社長が認めるように、このタブーへの挑戦は計算し尽くされたものであった。ある重要なパラダイムの変化が進行していたのである。現代の多くの富裕な人々は、仕事においてのみでなく、ヨットの舵輪を握ったり、ボブスレーで凍りついたコースを疾走したり、健康のため朝の6時にセントラルパークでジョギングをしたり、余暇においてもきわめて活動的である。新しいジェネレーションはチャレンジを好み、ダイナミックなライフスタイルを追い求める。ここにはデリケートなムーブメントを搭載した貴重な、傷つきやすい1970年代のゴールド・ウォッチの立ち入る隙はない。エレガントなイブニング・イベントには必要かもしれないが、多忙な企業家や経営者たちが執務時間中や、テニスコートや週末のゴルフで着用するための時計としては、明らかに不適当であった。パテック フィリップはこの潮流を早くから先取りし、1976年にまったく新しいタイルのタイムピース、ノーチラス3700モデルを創作してこれに応えた。ノーチラスは新たな顧客層にアピールすると共に、既にパテック フィリップの貴重なゴールド・モデルを所有している人々が、ステンレススチール・ケースのより強靭な第2のタイムピースをコレクションに加えるという目的にも添うものであった。そしていずれの目的も大成功を収めたのである。ノーチラスの発表と共にスタートした広告キャンペーンは、このタイムピースの旧習に対するチャレンジをよく表している。『世界で最も高価なタイムピースのひとつはスチールウォッチである』とは、注目を集めたキャッチコピーのひとつである。『ウェットスーツにもタキシードにも完璧にマッチするタイムピース』という、もうひとつの話題を呼んだ広告タイトルも、きわめて核心を突いたものであった。

## 新しいフォルム、新しいコンセプト

ノーチラスの発表は話題を独占した。ラグジュアリーを体現する初のステンレススチール・ウォッチであったばかりか、その大胆なフォルムは、時計デザインと設計のすべての既存ルールに真っ向から対立するものであった。ベゼルの形状も前代未聞であった。ラウンド型でもレクタングラー型でもない、優しく丸みを帯びた8角形をなしていた。そして一部の人々から《耳》と綽名された、左右に突き出たヒンジ部分。さらなる驚きはそのサイズであった。ヒンジ部を含めた横幅42 mm、厚さ7.6 mmは、1976年当時、コンテンポラリーでエレガントとはとうてい呼べない大きさであった。しかしこの驚異的なデザインとひとつひとつのディテールは、機能的に完成された、長い開発研究の成果だったのである。ケースは、今日の多くの時計のようにケース本体、裏蓋、ベゼルの3体構造ではなく、2体構造であった。裏蓋と一体になったケース本体はステンレススチールから切り出され、リューズ以外の孔を持たない。ベゼルとケース本体は、左右のヒンジ部で4本のネジによって強固に固定される。この構造は、ヒンジに通したボルトによってジョイントを介し、鉄製のフレームに固定されていた汽船の舷窓を思わせるものである。この構造によりノーチラスは12気圧防水を実現していた。これはシリーズ生産のスポーツウォッチとしては画期的な技術的壮挙であった。こうしてノーチラスは、どのような苛酷な使用条件においても信頼できるタイムピースとなったのである。

## 伝統へのチャレンジから時代のシンボルへ

ノーチラスの革命的なデザインは賛否両論を巻き起こした。一部の人々はこれをショッキングと見なし、ある人々は熱烈な賛同者となった。当初からこのタイムピースが万人向けではなく、特定の顧客層を対象としたものであることは明らかであった。しかし幸運にも1980年代を通じ、この顧客層は大幅に増加した。発表された当初、論議の対象となった大きなサイズは強力なセールスポイントのひとつとなるに至り、1976年のオリジナルモデルをファンたちは愛着を込めて《ジャンボ》と呼んだ。また年を経るにつれ、女性たちの間でも人気が高まり、それに応えて1980年に4700モデルが発表された。1981年には、ひとまわり小さい3800モデル（横幅37.5 mm）が加わった。このモデルは、1990年にオリジナルサイズの《ジャンボ》が販売終了となった時点で唯一のノーチラス・モデルとなった。ノーチラスはスチール、ゴールド、スチール・ゴールド仕様、一部のモデルではさらにプラチナ仕様も製作された。しかしプレステージ溢れるオブジェとしてのノーチラスのユニークで一目でそれと分かるフォルムは、常に変わらなかったのである。1998年、パテック フィリップは、特にこのモデルのために新たに開発されたコンプリケーション機能、ワインディングゲージ (IZR) を搭載し、オリジナルの大型サイズに立ち戻ったニューモデル、3710/1Aを発表した。そして2005年には、ノーチラスとして初めてパワーリザーブ表示、指針日付表示、ムーンフェイズの3つのコンプリケーション機能を備えた3712/1Aモデルが発表されたのであった。ニューモデルを求める販売店の予約リストは際限なく伸び続けた。当時、主要時計オークションに初期のノーチラスが現われ始め、落札価格はしばしば現行モデルの価格を凌駕した。伝統へのチャレンジは時代のシンボルとなったのだ。パテック フィリップは、時計製作伝統の正統的な継承者であると共に、技術、デザインにおいても常にパイオニアであることを今一度立証したのであった。

## ニュー・ノーチラスにおける革新と伝統

パテック フィリップのタイムピースやコレクションを考えるとき、30年というスパンは決して長いも

のではない。たとえば70年の歴史を誇るカラトラバや、やがて誕生40周年を迎えるゴールデン・エリップスを思い起こしていただきたい。ゆえに長さのみを考えれば2006年という年は一里塚に過ぎない。しかしノーチラスにとってやはり今年は特別の年である。誕生30周年を記念してパテック フィリップがコレクションを全面的にリニューアルし、6つのニューモデル中5つについては、ケース構造にまで立ち入った変更が行われたからである。

新しい3体構造ケースは、ノーチラスの伝説的な強靭さを些かも損なうことなく実現している。最新の製造技術と新素材の採用により、オリジナルモデルの2体構造に優るとも劣らない強度と防水性能を備えた、伝統的なケース本体、裏蓋、ベゼルの3体構造が可能となったのである。ベゼルのケース本体への取付けは、ノーチラスに伝統的な、左右にヒンジ部を持つ《舷窓》方式によって行う。しかし従来は直線的であったヒンジ部は、ベゼルのフォルムと一体化した穏やかなカーブを与えられた。ニュー・ノーチラスのエレガンスをさらに強化するディテールといえよう。

6目のミディアムサイズ・モデルにおいては、デザイン的に前記の5モデルと同じ改良が加えられているが、1976年のオリジナルモデルへのオマージュとして、裏蓋とケース本体が一体になった2体構造が採用された。

6つのニューモデルはすべてサファイヤクリスタル・バックを備え、ジュネーブ・シールを刻印されたパテック フィリップの伝説的な自動巻ムーブメントの動きを鑑賞することができる。

## ローズゴールドの新たな輝き

ノーチラスは、これまでスチール、イエローゴールド、ホワイトゴールド、さらに一部のモデルではプラチナを素材として製作してきた。ニュー・ノーチラスのラージサイズ・モデルには、さらにローズゴールド仕様が加わる。ローズゴールドの暖かく洗練された輝きは、ノーチラスの頑強なフォルムと美しいコントラストを生み出している。素材の美しさを最大限に引き出すため、それぞれの素材にマッチした文字盤カラーが用意されている。ステンレススチール・モデルは、オリジナルモデルと同じブルー・ブラック文字盤。ローズゴールド・モデルは、より明るいブラウン・アントラサイト文字盤を新たに採用。一方ホワイトゴールド・モデルは、テクニカルな性格を強調するグレー・アントラサイト文字盤が導入された。ブルー・ブラックおよびブラウン・アントラサイト文字盤は、ノーチラスの特徴のひとつである、外周からセンターに向かうデリケートなグラデュエーションがかけられている。グレー・アントラサイト文字盤（ホワイトゴールド5712モデル）にはグラデュエーションがかけられていない。すべての文字盤は、やはりノーチラスの特徴である水平エンボス模様を配している。しかしさらに一步進んで夜光指針と植字インデックスのサイズをわずかに増強した。さらに各インデックス先端の形状は、その位置によりベゼルのラインに合わせて個別に変化がつけられている。これらすべてのディテールが、ニュー・ノーチラスに親密であると同時にフレッシュな印象を与えることに成功しているのである。

## ディテールを探求したステンレススチール・ブレスレットと革バンド

ノーチラスのメタリック・ブレスレットは、その頑強で大型のリンクにもかかわらず、きわめて柔軟で快適な装着感を実現していた。ニュー・ノーチラスの創作に当たりパテック フィリップは、新しいケースサイズに合わせてブレスレットのプロポーションをリニューアルした。統合されたデザインは、ケースのフォルムとブレスレットをシームレスに統合し、リンクは先端に向かうに従って次第に狭くなり、折り畳み式バックルが快適さと安全を保証している。よりソフトな感触を与えるよう仕上げも改良されている。

オリジナル同様、外側のリンクはサテン仕上げ、中央のリンクはポリッシュ仕上げとなっている。

ラージサイズのホワイトゴールド、ローズゴールド・モデルはラージ・スクエアのアリゲーター・バンドを装着、カラーはホワイトゴールド・モデルがサファイア・ブラック、ローズゴールド・モデルがブラウンとなっている。ケース素材にマッチするソリッドゴールド折り畳み式バックルは、新開発の3ブレード構造を持ち、ネジによる長さ調節システムが最高の信頼性を保証している。

### ニュー・ノーチラスのフラッグシップ5711/1Aモデル

新しいノーチラス5711/1Aモデルは横幅43 mmで、1976年のオリジナルモデルより1 mm大きい。しかしこれはラージサイズ・ウォッチの流行に影響された結果ではなく、左右のヒンジ部が丸味を帯びたフォルムとなったため幅が増したことによる。新しい3体構造ケースは、ねじ込み式サファイアクリスタル・バック、ねじ込み式リューズを備える。防水性能は12気圧である。愛好家、コレクターから最高の評価を受けている、21金中央ローターを備えた自動巻315 SCキャリバーを搭載している。時、分、センターセコンドの他、日付を3時位置に窓表示する。

ノーチラス5711/1Aモデルは、ステンレススチール仕様。統合されたデザインのステンレススチール・ブレスレットを装着する。外側のリンクがサテン仕上げ、中央リンクがポリッシュ仕上げとなっている。

### ひとまわり小さいミディアムサイズの5800/1Aモデル

新しいノーチラス5800/1Aモデルは、ひとまわり小さい横幅38.4 mmのサイズである。やはり前身の3800/1Aモデル(37.5 mm)より約1 mm大きくなっている。5800/1Aモデルは手首のスリムな男性に理想的なモデルであると同時に、従来より大型のタイムピースを着用したいと望むすべての女性を魅了することであろう。このモデルはニュー・ノーチラス中、オリジナルと同じ2体構造ケースを採用した唯ひとつモデルであるが、サファイアクリスタル・バックが装備されている。2体構造ケースにおいては、ムーブメントをベゼル側から搭載するため、リューズには防水性能を備えた《継手巻真》が採用されている。サファイアクリスタル・バックを通して、パテック フィリップの自動巻キャリバー330 SCを鑑賞することができる。時、分、センターセコンドの他、日付を窓表示(3時位置)する。

ミディアムサイズのニュー・ノーチラス5800/1Aモデルは、ステンレススチール仕様のみ。統合されたデザインのステンレススチール・ブレスレットを装着する。外側のリンクがサテン仕上げ、中央リンクがポリッシュ仕上げとなっている。

### コンプリケーテッド・タイムピース5712/1モデル

ニュー・ノーチラスのコンプリケーション・モデル5712/1も、発表からわずか1年にしてコレクターズアイテムとなった輝かしい前身(3712/1A)の後を継ぐモデルである。時、分表示の他、4時位置にスモールセコンド、10~11時位置にパワーリザーブ表示、7時位置に日付指針表示とムーンフェイズを備える。スポーツウォッチとしては例外的なコンプリケーション機能の豊富さ、およびオリジナルな表示レイアウトは、5712/1モデルをニュー・ノーチラス・コレクション随一のエクスクルーシブなモデルとしている。は3体構造のケースはサファイアクリスタル・バック、ねじ込み式リューズ、ケース側面にムーンフェイズ調整ボタンを備えている。この調整ボタンにより防水性能は6気圧となっている。パテック フィリップの著名な自動巻キャリバー240 PS IRM C LUを搭載。ムーブメントに統合された22金偏心マイクロ

ローターの採用により、搭載されたコンプリケーション機能を考えると驚異的な3.98 mmというムーブメント厚を実現している。

ニュー・ノーチラス5712/1モデルは、統合されたデザインのステンレススチール・プレスレットを装着したステンレススチール仕様（5712/1A）。外側のリンクがサテン仕上げ、中央リンクがポリッシュ仕上げとなっている。

さらに18金ローズゴールド仕様（5712 R）、および18金ホワイトゴールド仕様（5712 G）もある。この2つはラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンドを装着し、カラーはホワイトゴールド・モデルがサファリ・ブラック、ローズゴールド・モデルがブラウンとなっている。ケース素材にマッチする18金ソリッドゴールドのニュータイプの折り畳み式バックルを備える。

### ニュー・ノーチラスのクライマックスを飾るクロノグラフ5980/1A モデル

5980/1A モデルこそは夢のクロノグラフといえよう。パテック フィリップ・タイムピースの愛好家、コレクターは、パテック フィリップが開発、製作、仕上げをすべて行う完全自社開発・製作の自動巻クロノグラフを長い間待ち望んできた。2005年、パテック フィリップは世界で最も薄いスプリット秒針クロノグラフ5959Pを発表してこの期待に応えた。続いて2006年1月、パテック フィリップは年次カレンダー搭載自動巻クロノグラフ5960Pモデルを発表した。今日、パテック フィリップはフライバック・クロノグラフ搭載のノーチラス5980/1A モデルを発表する。エレガントでスポーティなタイムピース、ノーチラスにとってクロノグラフほどふさわしい機能があるだろうか？ コラムホイールを備えたパテック フィリップの新しいクロノグラフ・キャリバー28-250 Cは、横幅44 mmのノーチラス・ケースに完璧にフィットする。5980/1A モデルのアキテクチャーは5960Pモデルに搭載されたムーブメントを基本としているが、3時位置に瞬時日送り式の日付表示窓を備えている。このムーブメントは時、分表示に加え、秒表示に特筆すべき技術的、デザイン的特徴がある。フライバック機能を備えたセンターのクロノグラフ秒針が通常のセンターセコンドの機能をも果たすことができるのだ。このクロノグラフでは、従来の3つの歯車からなる構造に代わり、垂直方向に移動するクラッチディスクによりクロノグラフのスタート・ストップを行う。このメカニズムは歯車同士の噛み合いがないため、ほとんど摩擦によるエネルギーのロスがなく、このためクロノグラフ秒針を常に回転させてセンターセコンドとして用いることができる。今ひとつ大きな特徴は、文字盤の下半分の高さを占める大型の一体型クロノグラフ・サブダイヤルである。同心円状に設けられた3重の目盛により60分、12時間のクロノグラフ積算表示を行う。

この驚異的なクロノグラフ・ムーブメントが、リニューアルされたノーチラス・ケースに収められている。横幅44 mmの5980/1A モデルは、ニュー・ノーチラス・コレクション中最大のサイズとなっている。2つのクロノグラフ・プッシュボタンはケース側面に完璧に配置されており、1976年のノーチラスが当初からクロノグラフ用プッシュボタンを予想してデザインされていたかのようにさえ思えてくる。ニュー・ノーチラス・コレクションのひとつを除くすべてのモデル同様、3体構造ケースが採用されている。サファイヤクリスタル・バックを通して洗練された仕上げ、ゴールド・ローター、受けに刻印されたジュネーブ・シールを心行くまで鑑賞することができる。

ニュー・ノーチラス5980/1A モデルは、統合されたデザインのステンレススチール・プレスレットを装着したステンレススチール仕様のみ。外側のリンクがサテン仕上げ、中央リンクがポリッシュ仕上げとなっている。

ニュー・ノーチラス・コレクションの発表により、パテック フィリップは《スポーツエレガンス》の偉大なクラシックのリニューアルに空前の成功を収めたといえよう。熟慮された数多くのディテールの改良

## 《報道資料》ページ 6

により、オリジナル・モデルはさらにそのスタイリングを高め、パーソナリティを強めたといってよい。一方新しいクロノグラフ5980/1Aモデルは、この栄えあるプレステージ・スポーツウォッチ・コレクションのスケールをさらに広げることに貢献した。誕生30周年を迎えたノーチラス・コレクションには、これから少なくとも30年間の成功が保証されていると断言してよいだろう。

### 《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

丸山和泉

電 話：03-5209-8018（直通）

F A X：03-3256-7558

maruyama@ppjapan.com

### 《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

パテック フィリップ ホームページ：<http://www.patek.com>（英語）

## 技術仕様

### ノーチラス5711/1ステンレススチール・モデル

ムーブメント	キャリバー315 SC 自動巻ムーブメント
直 径：	27 mm
厚 さ：	3.22 mm
部品総数：	213個
石 数：	29石
連続駆動可能時間：	最低38時間、最高48時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式21金中央ローター
テンプ：	ジャイロマックス
振動数：	21,600 振動（片道）／時（3 Hz）
髭ゼンマイ：	平髭式
セッティング機能：	リューズの3位置 ・押し込んだ位置： ゼンマイの巻き上げ ・一段引き出した位置： 日付合わせ ・二段引き出した位置： 時刻合わせ
表 示：	・時針、分針、センタークロノ ・日付窓表示（3時位置）
認定印：	ジュネーブ・シール
外 装	
ケース：	3体構造ケース（裏蓋、ケース本体、ベゼル）、ステンレススチール仕様、 サファイヤクリスタル・バック、防水ねじ込み式リューズ 縦方向サテン仕上げベゼル、12気圧防水
ケースサイズ：	3時～9時： 43 mm（ヒンジ部を含む） 3時～9時： 44 mm（リューズを含む） 6時～12時： 38 mm（ベゼル） 2時～8時： 40 mm 厚 さ： 8.30 mm
文字盤：	・ダークブルー（センター）からブラック（外周）にグラデュエーション、 水平エンボス模様 ・12本のバトン型夜光18金ホワイトゴールド植字インデックス ・バトン型夜光18金ホワイトゴールド時・分針 ・ホワイトゴールド秒針
プレスレット：	ステンレススチール仕様、外側のリンクがサテン仕上げ、 中央リンクがポリッシュ仕上げ、ステンレススチール折り畳み式バックル付

## ノーチラス5712/1ステンレススチール・モデル

ムーブメント	キャリバー240 PS IRM C LU 超薄型自動巻ムーブメント
直 径：	31 mm
厚 さ：	3.98 mm
部品総数：	265個
石 数：	29石
連続駆動可能時間：	最低38時間、最高48時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式22金偏心マイクロローター
テンプ：	ジャイロマックス
振動数：	21,600 振動 (片道) / 時 (3 Hz)
髭ゼンマイ：	平髭式
セッティング機能：	リュウズの2位置 ・押し込んだ位置： ゼンマイの巻き上げ ・引き出した位置： 日付合わせ
表 示：	・時針、分針 ・スモールセコンド (4~5時位置) ・パワーリザーブ表示 (10~11時位置) ・日付指針表示 (7~8時位置) ・ムーンフェイズ表示 (7~8時位置)
調整ボタン：	・ムーンフェイズ調整 (4時位置) ・日付調整 (8時位置)
認定印：	ジュネーブ・シール
外 装	
ケース：	3体構造ケース (裏蓋、ケース本体、ベゼル)、ステンレススチール仕様、 サファイヤクリスタル・バック、防水ねじ込み式リュウズ 縦方向サテン仕上げベゼル、6気圧防水
ケースサイズ：	3時~9時： 43 mm (ヒンジ部を含む) 3時~9時： 44.05 mm (リュウズを含む) 6時~12時： 38 mm (ベゼル) 2時~8時： 40 mm 厚 さ： 8.52 mm
文字盤：	・ダークブルー (センター) からブラック (外周) にグラデーション、 水平エンボス模様 ・10本のバトン型夜光18金ホワイトゴールド植字インデックス ・バトン型夜光18金ホワイトゴールド時・分針 ・18金ホワイトゴールド・ホワイトラック秒、日付、パワーリザーブ針
ブレスレット：	ステンレススチール仕様、外側のリンクがサテン仕上げ、 中央リンクがポリッシュ仕上げ、ステンレススチール折り畳み式バックル付

## ノーチラス5712/1 ローズゴールド、ホワイトゴールド・モデル

ムーブメント	キャリバー240 PS IRM C LU 超薄型自動巻ムーブメント
直 径：	31 mm
厚 さ：	3.98 mm
部品総数：	265個
石 数：	29石
連続駆動可能時間：	最低38時間、最高48時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式22金偏心マイクロローター
テンプ：	ジャイロマックス
振動数：	21,600 振動 (片道) / 時 (3 Hz)
髭ゼンマイ：	平髭式
セッティング機能：	リュウズの2位置 ・押し込んだ位置： ゼンマイの巻き上げ ・引き出した位置： 日付合わせ
表 示：	・時針、分針 ・スモールセコンド (4~5時位置) ・パワーリザーブ表示 (10~11時位置) ・日付指針表示 (7~8時位置) ・ムーンフェイズ表示 (7~8時位置)
調整ボタン：	・ムーンフェイズ調整 (4時位置) ・日付調整 (8時位置) (黒檀・18金ローズまたはホワイトゴールド製ファンクション・ペンシル)
認定印：	ジュネーブ・シール
外 装	
ケース：	3体構造ケース (裏蓋、ケース本体、ベゼル)、 ローズまたはホワイトゴールド仕様、 サファイヤクリスタル・バック、防水ねじ込み式リュウズ 縦方向サテン仕上げベゼル、6気圧防水
ケースサイズ：	3時~9時： 43 mm (ヒンジ部を含む) 3時~9時： 44.05 mm (リュウズを含む) 6時~12時： 38 mm (ベゼル)、44.41 mm (ラグ・リンクを含む) 2時~8時： 40 mm 厚 さ： 8.52 mm
文字盤：	・ホワイトゴールド・モデル： グレー・アントラサイト、水平エンボス模様 ・ローズゴールド・モデル： ダークブラウン (センター) からブラック (外周) にグラデーション、水平エンボス模様 ・10本のバトン型夜光18金ローズまたはホワイトゴールド植字インデックス ・バトン型夜光18金ローズまたはホワイトゴールド時・分針 ・18金ゴールド・ホワイトラック秒、日付、パワーリザーブ針

バンド： ケースと統合されたラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・  
バンド、カラーはホワイトゴールド・モデルがサファリ・ブラック、  
ローズゴールド・モデルがブラウン、新しい3ブレード構造の  
18金ローズまたはホワイトゴールド折り畳み式バックル付

## ノーチラス5800/1ステンレススチール・モデル

ムーブメント

キャリバー330 SC

自動巻ムーブメント

直 径：

27 mm

厚 さ：

3.5 mm

部品総数：

217個

石 数：

29石

連続駆動可能時間：

最低38時間、最高48時間

巻上げローター：

単方向巻上げ式21金中央ローター

テンプ：

ジャイロマックス（4アーム、4マスロット）

振動数：

21,600 振動（片道）／時（3 Hz）

髭ゼンマイ：

平髭式

セッティング機能：

リュウズの3位置

・押し込んだ位置： ゼンマイの巻き上げ

・一段引き出した位置： 日付合わせ

・二段引き出した位置： 時刻合わせ

表 示：

・時針、分針、センターセコンド

・日付窓表示（3時位置）

認定印：

ジュネーブ・シール

### 外 装

ケース：

2体構造ケース（裏蓋と一体になったケース本体、ベゼル）、

ステンレススチール仕様、サファイヤクリスタル・バック、

防水ねじ込み式リュウズ、縦方向サテン仕上げベゼル、12気圧防水

ケースサイズ：

3時～9時： 38.40 mm（ヒンジ部を含む）

3時～9時： 39.80 mm（リュウズを含む）

6時～12時： 33.20 mm（ベゼル）、38.93 mm（ラグ・リンクを含む）

2時～8時： 34.80 mm

厚 さ： 7.85 mm

文字盤：

・ダークブルー（センター）からブラック（外周）にグラデーション、

水平エンボス模様

・12本のバトン型夜光18金ホワイトゴールド植字インデックス

・バトン型夜光18金ホワイトゴールド時・分針

・ホワイトゴールド秒針

ブレスレット：

ステンレススチール仕様、外側のリンクがサテン仕上げ、

中央リンクがポリッシュ仕上げ、ステンレススチール折り畳み式バックル付

## ノーチラス・クロノグラフ 5980/1A

### ムーブメント

#### キャリバーCH 28-520 C

自動巻ムーブメント、コラムホイール・クロノグラフ、センターセコンド（クロノグラフ秒針）

直 径：	30 mm
厚 さ：	6.63 mm
部品総数：	327個
石 数：	35石
連続駆動可能時間：	最高55時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式21金中央ローター、潤滑油を必要としない ジルコン製ボールベアリング採用
テンプ：	ジャイロマックス（4アーム、4マスロット）
振動数：	28,800 振動（片道）／時（4 Hz）
髭ゼンマイ：	ブレゲ式
セッティング機能：	リューズの2位置 ・引き出した位置： 時刻合わせ ・押し込んだ位置： ゼンマイの巻き上げ
表 示：	・時針、分針 ・クロノグラフ秒針／センターセコンド ・クロノグラフ・デュアル・サブダイヤル（6時位置）： ・60分計（0～30（赤）、30～60（青）の二重目盛に60分まで記録） ・12時間計 ・日付窓表示（3時位置） （1991年パテック フィリップ特許による1/10秒未満の瞬時日送り式）
プッシュボタン：	・クロノグラフ・スタートおよびストップ（2時位置） ・クロノグラフ・ゼロ復帰およびフライバック（4時位置）
調整ボタン：	・日付調整（8時位置） (黒檀・18金ホワイトゴールド製ファンクション・ペンシル)
認定印：	ジュネーブ・シール
外 装	
ケース：	3体構造ケース（裏蓋、ケース本体、ベゼル）、ステンレススチール仕様、 サファイヤクリスタル・バック、防水ねじ込み式リューズ 縦方向サテン仕上げベゼル、12気圧防水
ケースサイズ：	3時～9時： 44 mm（ヒンジ部を含む） 3時～9時： 45.60 mm（リューズを含む） 6時～12時： 38.50 mm（ベゼル）、45.52 mm（ラグ・リンクを含む） 2時～8時： 40.50 mm 厚 さ： 12.16 mm

- 文字盤：
- ・ダークブルー（センター）からブラック（外周）にグラデーション、  
水平エンボス模様
  - ・9本のバトン型夜光18金ホワイトゴールド植字インデックス
  - ・バトン型夜光18金ホワイトゴールド時・分針
  - ・ステンレススチール・サンドブラスト仕上げ・ロジウムメッキ・  
クロノグラフ秒針／センターセコンド秒針
  - ・ロジウムメッキ一体型クロノグラフ・サブダイヤル
  - ・真鍮サンドブラスト仕上げ・ロジウムメッキ・カウンターウェイト付  
バトン型12時間計表示針
  - ・真鍮サンドブラスト仕上げ・ロジウムメッキ・カウンターウェイト付  
アロー型30分計表示針（先端レッド塗装）
- プレスレット：
- ステンレススチール仕様、外側のリンクがサテン仕上げ、  
中央リンクがポリッシュ仕上げ、ステンレススチール折り畳み式バックル付

## ノーチラスに関するまとめ

### ノーチラス小史

1976年	3700/1A モデル	《ジャンボ》の愛称で呼ばれた最初のノーチラス・モデル発表 (1990年に生産終了)
1980年	4700/1A モデル	レディスモデル発表 (2006年に生産終了)
1981年	3800/1A モデル	ミディアムサイズ・モデル発表 (2006年に生産終了)
1998年	3710/1A モデル	ワインディングゲージ (IZR) を搭載したラージサイズ・モデル発表 (2006年に生産終了)
2004年	3711/1A モデル	ホワイトゴールドのラージサイズ・モデル発表 (2006年に生産終了)
2005年	3712/1A モデル	3コンプリケーション機能搭載のラージサイズ・モデル発表 (2006年に生産終了)
2006年		ニュー・ノーチラス・コレクション発表

### ニュー・ノーチラス・コレクション2006の概要

1. 新しいケース形状、丸味を帯びたヒンジ部
2. すべてのモデルにサファイヤクリスタル・バックを装備
3. 各インデックス先端の形状はベゼルのラインに合わせて個別に変化がつけられた
4. より大きな指針のサイズ
5. ブレスレットのプロポーションを改良
6. 革バンドを装着したモデルの登場
7. ノーチラスとしては初のローズゴールド・モデルの登場
8. ねじ込み式リューズを備えた新しいケース構造
9. 3ブレード構造、2重安全システムを備えた新しい折り畳み式バックル (革バンド装着モデル)
10. ケースサイズの概要
  - ・ニュー・ノーチラスのミディアムサイズ： 38.40 mm (オリジナルのディアムサイズ： 37.5 mm)
  - ・ニュー《ジャンボ》サイズ： 43 mm (オリジナルの《ジャンボ》サイズ： 42 mm)
  - ・新しいノーチラス・クロノグラフ： 44 mm
11. 新しいコンプリケーテッド・モデルとノーチラス自動巻クロノグラフの登場